

音楽フェス始動

9月24日(土)、バイサイドアリーナ及び周辺を会場に「UTAKKO BURUME 2016 南三陸 ミナサン フェス」が行われました。このイベントは、町とNHK、そして町民有志のメンバーで構成された実行委員会を中心に作り上げた音楽フェスで、当日のスタッフにも町内外からボランティアが集まり開催されました。当日は、夏木マリ、Kiroro、MONKEY MAJIKR 著名アーティストによるスペシャルステージが行われたほか、町民によるダンスやバンドなどの屋外ステージ、町の匂の味が並んだ屋台や動物との触れ合いコーナーなども設けられ、来場者は心地よい音楽と町の魅力が詰まった極上の「お振る舞い」を存分に堪能しました。



～地域のコミュニティの場として再生～ 戸倉公民館落成式

9月10日(土)、現地において戸倉公民館の落成式が執り行われました。落成した戸倉公民館は、東日本大震災により被災した旧戸倉中学校校舎を改修し完成しました。落成式当日は、ご支援をいただいたドイツ大使館や日本赤十字社の皆様をはじめとした関係者・住民約100名が参加しました。また、行山流水戸辺鹿子躍や心輪海によるよさこいが披露され、完成を祝いました。10月1日(土)から供用開始となり、地域コミュニティの再形成・地域活性化の拠点として今後期待されます。

東京フィルがやってきた♪

9月14日(水)、戸倉小学校において東京フィルハーモニー交響楽団オーケストラ公演が行われました。国の文化芸術による子供の育成事業として開催されたもので、この日は同校の開校記念日にあたっていたことから、開校を祝う催しとなりました。公演は、楽器の紹介、その楽器にゆかりのある曲が演奏されたほか、代表児童3名と教諭が指揮者の体験をしました。また、児童や来場した地域住民が参加してのボディーパーカッションでの共演もあり、楽しいひと時を過ごしました。



復興を願い走る

9月17日(土)と18日(日)の2日間、「ツール・ド・東北」が石巻市から南三陸町、気仙沼市にかけての沿岸部を会場に開催されました。このイベントは、東日本大震災の復興支援、そして、変わっていく被災地の様子を多くの人に覚えてもらうことを目的とし、2013年から行われてきた自転車イベントです。4回目となる今回は、ライドの日程が2日間となり、複数の参加者が一緒に走る「グループライド」が種目に加われました。エイドステーションでは、地元の人により三陸の幸が用意され、全国から参加したライダーは現地の食を味わい、人との交流を楽しみました。



「働く」の意味を知った、 ジュニアインターンシップ



9月13日(火)から15日(木)までの3日間、志津川中学校生・志津川高校生による職場体験・ジュニアインターンシップが行われました。中学生は13日と14日の2日間、高校生は13日から15日までの3日間、自らが希望した町内の各事業所において「働く」という意味を勉強しました。そこで、南三陸病院のジュニアインターンシップの生徒に下記のような質問をしました。

- Q. どのようなことを仕事では心がけましたか？
Q. 今回のジュニアインターンシップで学んだことは？
- 生徒達は次のように回答してくれました。
- ・患者さんの顔やしぐさなどを、一人ひとり読みとってその人に合う行動をすること。
 - ・患者さんへの思いやりの気持ちや命の重み、普段どのような気持ちで看護しているのかを知りました。

他の職場にいる生徒達も働く大変さや命の重みなどを知り、真剣な態度でジュニアインターンシップの3日間を終えました。



▲「歌津うんめえもの研究会」によるくん製



▲「南三おふくろの味研究会」による缶詰



▲「戸倉漁師の会」によるカキの酒粕漬け

新たなブランド 「いいもの南三陸」

9月27日(火)、「いいもの南三陸」ブランドに認証された商品のお披露目会が町地方卸売市場で行われました。歌津・志津川・戸倉の3地区の漁業者らが設立した「南三陸ブランド戦略事務局」では、地域産品のブランド強化と六次産業化を目指し、キリングループの支援を受けて商品開発が進められてきました。また、町や商工会、観光協会等を委員に迎えたブランド認証制度を創設、厳しく審査が行われてきました。商品を使ったおにぎりやパスタなどの料理も並び、参加者は舌鼓を打っていました。